

第76期 株主通信 [平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日]

Network SI'er Report

特集

NGN時代の到来と
NECネットエスアイの挑戦



TOPICS

- 国内最大級のネットワーク統合オペレーションセンターを開設
- 株式会社ニチワを子会社化
- 「Customer's Fair 2008」でオフィス改革を提案
- 営業フロアが営業力と提案力がアップする環境に大変身!

NECネットエスアイ

NEC Networks & System Integration Corporation

CONTENTS

財務ハイライト

1

株主の皆様へ

2

トップインタビュー

3

特集 NGN

5

トピックス

7

アンケート集計結果

9

連結セグメントの概況

11

連結財務諸表

13

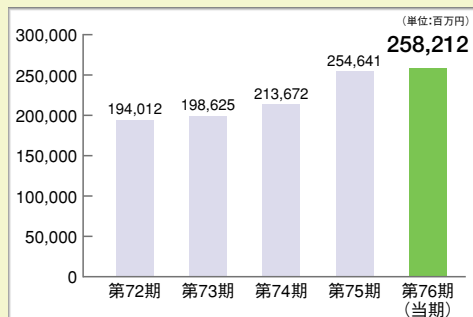
株式の状況

17

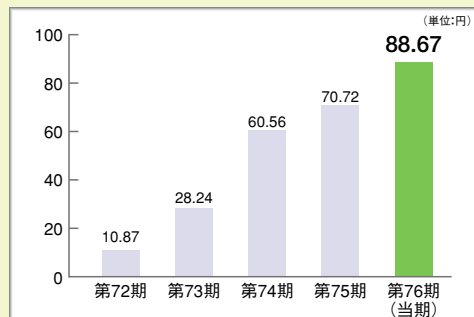
会社概要

18

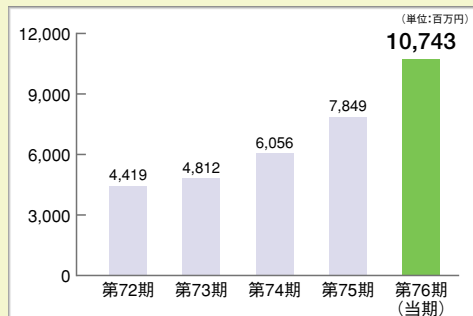
売上高



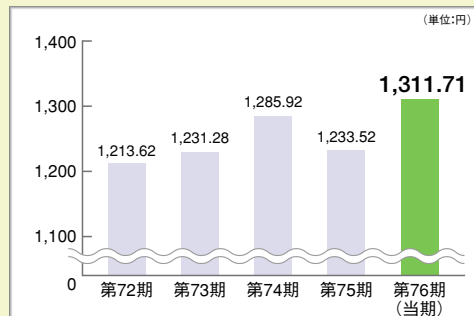
1株当たり当期純利益



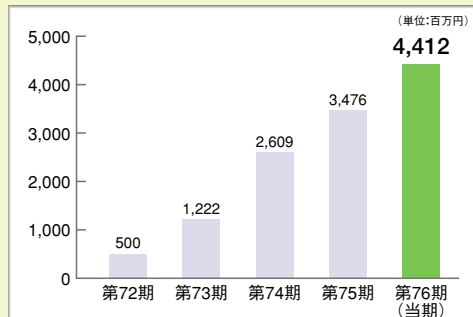
営業利益



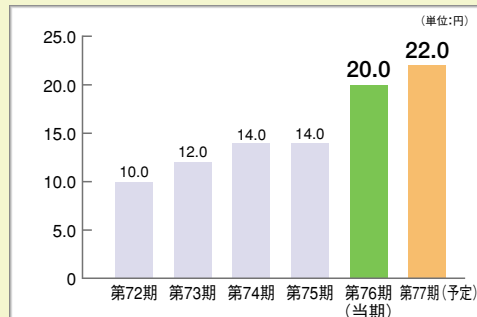
1株当たり純資産



当期純利益



配当状況



皆様のご支援のもと、全社を挙げて収益性の改善に取り組んだ結果、過去最高業績を達成いたしました。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに、第76期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の事業概況および経営成績をご報告いたします。

はじめに、当社グループの当期の連結業績につきましては、売上高は2,582億12百万円(前期比1.4%増)、営業利益は107億43百万円(前期比36.9%増)、経常利益は104億23百万円(前期比32.6%増)となり、過去最高の業績を達成することができました。これもひとえに株主の皆様からのご支援によるものと感謝申し上げます。特に収益性に関しましては、4年前から全社を挙げて取り組んでおりますAC-I活動*の成果があらわれてきたものであります。

このような状況を踏まえ、株主の皆様への利益還元を目的に、当期の配当金につきましては期末配当を1株当たり10円とし、中間配当(1株当たり10円)と合わせ、前期より6円増配の年20円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、本格的な拡大が見込まれる次世代ネットワーク(NGN)関連事業

では、技術者の育成を強化するために平成20年2月に開設した「NGN Laboratory(NGNラボ)」を活用し、人材育成や新サービス開発に向けた取り組みを強化してまいります。また、企業向けマーケットでは、前期に引き続き、大都市圏におけるオフィス移転需要の取り込みに加え、平成20年4月に子会社化した株式会社ニチワの関西エリア(神戸・姫路地域)マーケットを取り込むなど、更なる拡大に向け積極的に拡販してまいります。収益面につきましては、AC-I活動をさらに加速させ、更なる収益力の強化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役執行役員社長

山本正孝

※AC-I活動：All Cost & Management Innovationの略。
原価低減活動のみならず、タイムマネジメント等の効率化までも含めた全社を挙げたトータルコスト改革活動。



組織力を高め、 強い企業集団へと 成長させます。

～Good Communication & Good Teamwork～

当期における業績は好調でしたが 主な要因は何でしょうか？

NECテレネットワークス株式会社と合併(平成19年4月)して事業領域の拡大を図り、さらには、10月に次世代ネットワーク(NGN)関連事業強化のための大規模な組織改革を実施いたしました。これにより、当社の全事業領域においてお客様を取り込める力がついてきたこと、そして数年前から取り組んできた、社内の経営改革の成果があらわれ、収益力強化に結びついたことが大きな要因だと思います。

社内の改革が浸透しているようですが、 具体的にどんな変化があったので しょうか？

社員一人ひとりの目線が変わりつつあることです。社外に対する発信力が非常に高まってきており、その結果としてお客様や市場から高い評価を得たのだと思います。

例えば、昨年夏に開設した「エンパワードオフィスセンター(Empowered Office Center)」、最近開設した「NGNラボ(NGN Laboratory)」、「ネットワーク統合オペレーションセンター(nTOC)」などは全て社員からの発想が形になったものです。

私は社員の潜在能力を引き出すため、社内外の現場を見て回り、私の目線で問題を提起し、社員とコミュニケーションを取りながらアイデアを吸い上げ、形にしていきます。つまり“変化の見える化”に一生懸命取り組んでいるのです。社員一人ひとりの成長が結果として会社全体の業績アップに繋がる、そういった経営を目指しています。

現在、課題としては 何が挙げられますか？

当社はここ数年、収益性については力強さが出ていますが、成長面に課題が残ります。売上の成長は、主にNECテレネットワークス株式会社などとの合併による事業領域の拡大に伴う相乗効果によるものであり、今後は、本来の事業をいかに拡大させていくかが私の使命であると思っています。そのためには、お客様からの信頼を得なければなりません。

強くなった社員一人ひとりの能力を、部門から全社に繋げ、会社全体の力を引き出し、会社の成長に繋げていきたい。当社の事業は、営業からシステム構築、そしてサポートサービス、どれかひとつ欠けても信頼を失うため、全部門が連携してサービスを提供する体制の強化に取り組んでいきたいと思っています。そこで、「Good Communication & Good Teamwork」が大切であると常日頃、社員に伝えています。

今後、力を入れていきたい 取り組みを教えてください。

今後市場の拡大が予想されるNGN(次世代ネットワーク)は従来の事業にとって変わるチャンスがあります。その中でNECグループは非常に強いポジションにあるため、NECグループと連携しながら当社の強みを生かし、シェア拡大を目指していきたいと思っています。また、将来は官公庁をはじめ、企業のお客様に対してもNGNを使ったサービスを展開していきたいと考えております。

目指しているのは、“国内のドミナント(支配的、優勢)プレーヤー”。名実ともに“ネットワークSI'er 国内No.1”になるため、より強い企業集団へと成長していきたいと考えております。

今後ともぜひ当社にご期待ください。



平成20年3月から日本でユビキタス社会のインフラとして、次世代ネットワーク(NGN)の商用サービスが開始されました。NGNの到来は、通信の歴史が始まって以来100年ぶりの大変革であると言われています。

NECネットズエスアイでは、システム構築からアウトソーシングに至るまでNGN時代にふさわしいトータルなソリューションを提供してまいります。

NGN時代の到来と NECネットズエスアイの挑戦

評価スペース
機器の相互接続、新サービスの評価等を実施します。

マシンルーム
NGNサービスの基盤となるシステムや設備を備えています。

■有望な成長市場のNGN

拡大するNGN事業の投資と 当社の事業拡大への取り組み

最近、新聞や雑誌でNGNという言葉がよく使われるようになりました。NGNとは固定電話やインターネットなどの、従来のネットワークの特徴を活かし、膨大で多様化する情報を「安心・安全」で「便利・快適」に利用できる次世

代の情報通信ネットワークのことです。

当社のお客様である通信事業者は、平成22年度以降本格化すると予測されているNGNを活用したサービスに向け、NGNに関する設備投資を拡大させています。

これは当社にとっては大きなビジネスチャンスとなります。拡大するNGN市場のなか、NECグループはNGN関連事業に強みがあり、

特に当社はNGN関連のシステム構築や運用、保守の中核を担うだけでなく、当社独自のサービス開発にも積極的に取り組んでおります。平成20年度はNGN関連事業の売上目標を170億円とし、今後も更なる事業拡大を目指します。

図1 NGNのイメージ

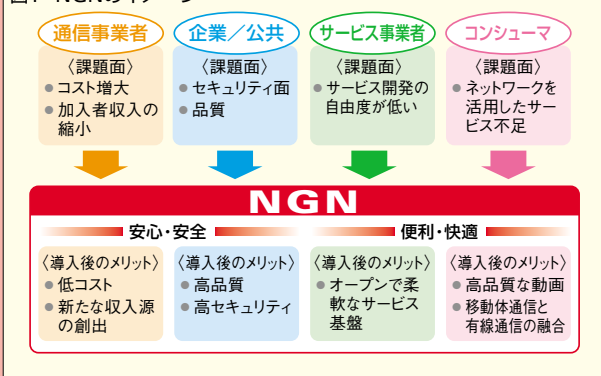
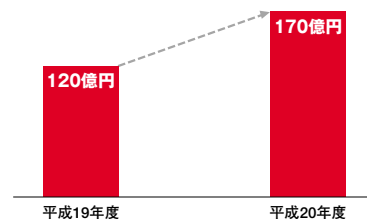
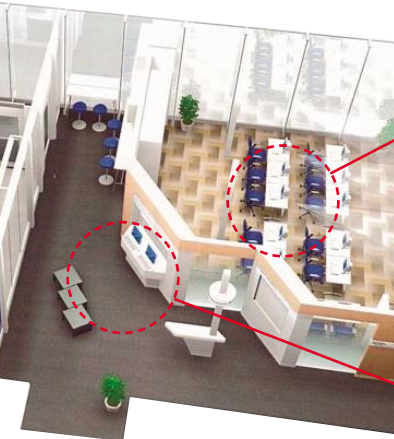


図2 通信事業者向け市場における当社のNGN関連売上目標

当社では、NGN関連の平成20年度売上高目標を170億円としております **前年比50億円増**





NGN Laboratory外観図



トレーニングルーム
PCを使用して実践的なトレーニングを行います。



デモ/展示スペース
NGNを活用した新しいサービスを体験できます。

NGNラボが果たす役割と目標

1. 技術者の育成→平成22年までに1,300名育成
2. 品質の向上→通信関連の接続試験や評価
3. サービスの創出→「EmpoweredOffice」と連携したサービス創出

で実際に試験しながら運用ができます。

今後は、NGNの設計・構築から運用・保守まで対応できる技術者の育成を強化し、NGNに対応したネットワークのワンストップサービスの実現に向けた取り組みを強化してまいります。

■当社のNGNへの取り組み事例

NGNに向けてNECネットエスアイが提供する新サービス創出センター「NGN Laboratory」

NGN時代に向けて当社では、平成20年2月本社内に開発拠点となる「NGN Laboratory」(以下NGNラボ)を開設しました。主な役割として“技術者の育成”、“品質の向上”、“サービスの創出”の3つがあります。

NGNラボ内部には、NGNに不可欠なネットワーク機器やサーバを設置し、通信事業者が持つNGN施設と同等の環境を整備しています。その利点を最大限に発揮することにより、開発したサービスの評価や検証を行うことができます。また、当社が提唱しているオフィス内の業務プロセス改革と環境刷新を行う「EmpoweredOffice」を連動させることにより、NGNラボで開発したサービスを隣接して設置されている「EmpoweredOffice Center」

NGN事業推進本部のキーパーソンが語る

NGNラボを中核とした事業展開

昨年10月にNGN事業推進本部を立ち上げ、最初の大きな取り組みがNGNラボの設立でした。このNGNラボは、平成18年末より、当社のNGN事業に関連した部門が集結して、その中で検討を重ね続けて、実現に結びついたSI'erとしては国内初のNGN設備です。

当社では、中期ベースでNGN関連事業の売上を年平均40%以上の伸び率で計画しており、早期に技術者を育成するために必要不可欠な設備でありました。また、NGNになり固定網、移動網などのコア設備が統合されるため、品質面の向上が今まで以上に求められるのは明らかです。このような状況で、少しでも他社に先駆けて、実機を整え、育成や品質評価に活用ができることで、今後の事業展開を優位に進められるものと確信しております。



ネットワーク事業統括本部
NGN事業推進本部長
横山基之

国内最大級のネットワーク統合オペレーションセンターを開設



東京と大阪でお客様の
コールを分散し、相互
でバックアップ



様々なサポートサービスを24時間体制で運用可能に

様々なサポートサービスを24時間体制で運用可能に

平成20年4月14日、お客様にネットワークシステムをより安心・快適にお使いいただくためのサポート拠点である「ネットワーク統合オペレーションセンター(nTOC、通称：エヌストック)」を東京と大阪に開設いたしました。

ネットワークシステムのサポート施設としては、規模面積、サポートエンジニア数、そして対応顧客数などの面で、国内最大級となります。

「nTOC」は、当社が提供しているネットワークシステム(ネットワーク、テレフォニー、サーバ、セキュリティなど)のサポートサービス機能(監視・運用・保守など)を集約した全国対応の統合オペレーションセンターであり、ネットワークに精通した専門のオペレーションエンジニアがお客様のニーズに対応したきめ細やかなサービスを24時間365日体制で提供いたします。

当社では、「nTOC」を基盤としたサービスをサポートサービス事業の中核と位置づけ、サポートサービスメニューの拡充により当事業の拡大を図るとともに、ネットワークインテグレーション事業の拡大にも繋げてまいります。

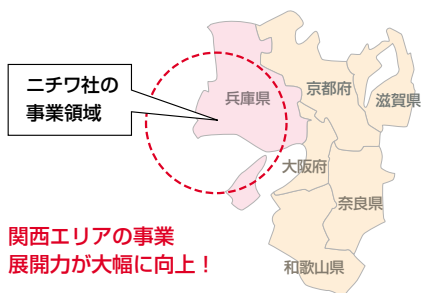
株式会社ニチワを子会社化

関西エリア(神戸・姫路地域)における 中堅企業向けネットワークシステム事業の強化

中堅企業向けマーケットを拡大するため、当社は、神戸・姫路地域を中心にIT・ネットワークシステムおよび関連ハードウェアの販売事業を展開する「株式会社ニチワ(ニチワ社)」を平成20年4月1日付で連結子会社化いたしました。

これにより、ニチワ社の同地域における営業力と当社グループのネットワークシステム事業の強みを活かした事業展開を図り、関西エリアにおける中堅企業向けネットワークシステム事業の一層の強化を図ってまいります。

当社では、成長力強化策の1つとして積極的なM&Aを実施してまいりましたが、今後も事業拡大に向けた投資を積極的に推進する施策を行ってまいります。



関西エリアの事業
展開力が大幅に向上！

ニチワ社の概要

本店所在地：兵庫県神戸市

設立年月日：昭和28年1月10日

資本金：50百万円

売上高：50億円(平成19年11月期)

従業員数：112名(平成20年4月1日現在)

「Customer's Fair 2008」でオフィス改革を提案

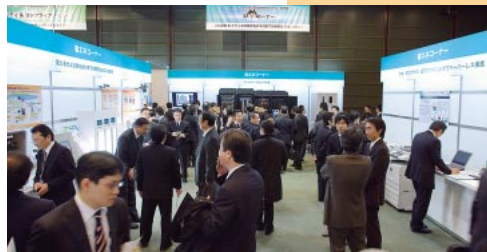
ICT※を活用した“働く場の改革”をソリューションで実演

業務プロセスの改善や生産性の向上を促す様々なサービスを紹介するイベント「Customer's Fair 2008」を2月20日、有楽町の東京国際フォーラムにて開催いたしました。

会場では、企業の対処すべき課題である「セキュリティ&コンプライアンス対策」、「省エネ対策」等の視点からオフィス改革を実現させるためのソリューションを、会場内に再現した体験型展示スタイル等でお客様にご紹介し、新しいオフィス環境のあり方をイメージしていただきました。

また、展示のほかに開催されたスペシャルセッションでは、山本社長と日経BP株式会社の宮崎氏の対談「EmpoweredOffice実践編」が行われ、当社が実践しているオフィス改革の実例を交えて、この1年間の「EmpoweredOffice」事業推進の取り組みについてご紹介いたしました。お客様からは高い評価をいただき、好評のうちに終了することができました。

今後も、お客様に魅力あるイベントを行ってまいります。



お客様の活気に満ちていた展示コーナー

スペシャルセッションで、オフィス改革を語る社長

※ICT Information and Communication Technologyの略称であり情報・通信に関連する技術一般の総称でITに変わる表現として定着しつつある。

営業フロアが営業力と提案力がアップする環境に大変身!

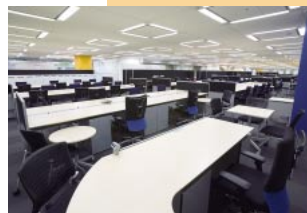
営業改革プロジェクトに伴う「EmpoweredOffice」テストケースとして導入

営業プロセスの改革、ICTの効果的な活用を目指した「営業改革プロジェクト」を当社は推進しており、ネットワークの構築経験と実際の商材を使ってお客様への提案力を高めようという目的のため、本社7階の営業フロア(約700坪)のオフィス環境を平成20年1月に大幅に刷新いたしました。

今回の大きな改革の一つは、その日によって業務を行う席を自由に選べるグループアドレスを採用したことです。社員同士が自由にコミュニケーションを取り、スピーディーな情報・意見交換を行うことで営業力や提案力の向上を図りました。さらに無線LAN環境により、社内のどこでもパソコンを使用でき、立ったままの打ち合わせなど状況に応じて会議やミーティングが行えることで、時間短縮や業務効率を向上させることができました。

刷新されたオフィスは、当社が提供するソリューション「EmpoweredOffice」を実証・検証する場としてお客様に公開し、実際にご見学していただき、提案やデモを行えるモデルオフィスとして活用してまいります。

これら社内での実証や改善を織り込み、お客様により良いオフィス環境を提供してまいります。



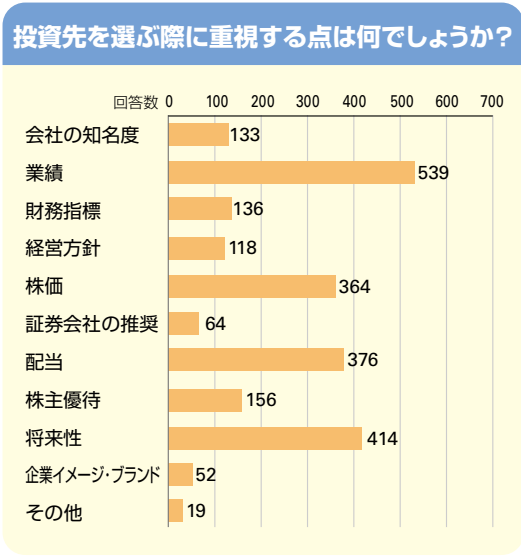
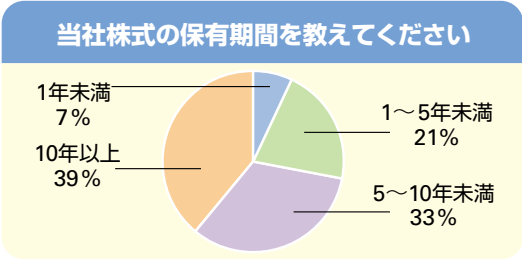
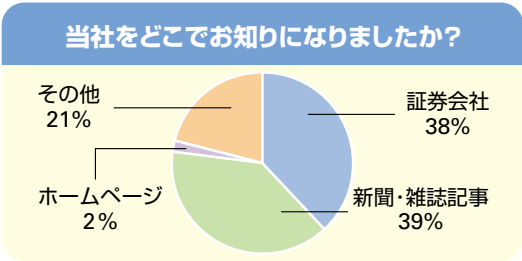
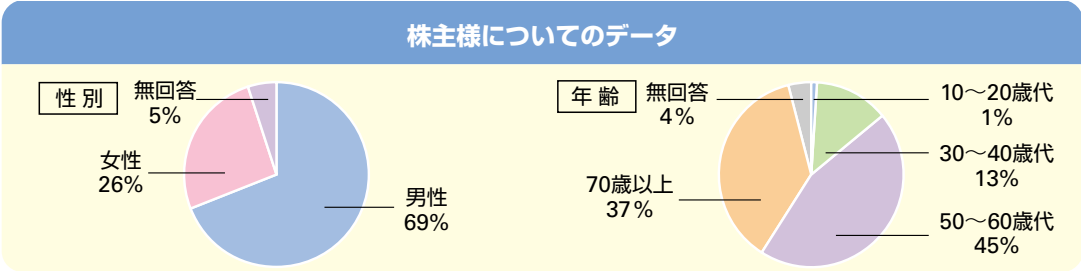
シンプルで開放感にあふれた作業スペース



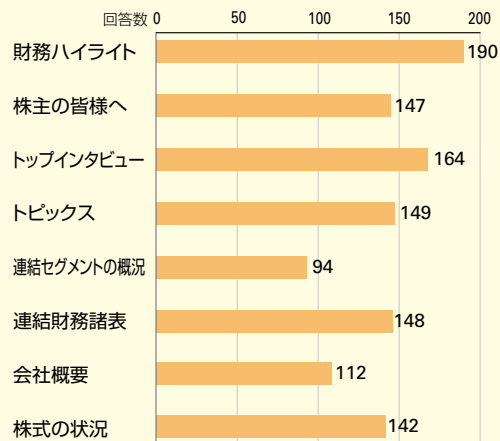
イスなどの備品は社員のアンケートを反映

株主様アンケート集計結果

「第76期 中間期株主通信」において実施したアンケートに多くのご回答をいただき、ありがとうございました。
これからも、株主の皆様の貴重なご意見をもとに情報発信の充実に取り組んでまいります。



「株主通信」で一番興味をお持ちになられた内容はどれですか？

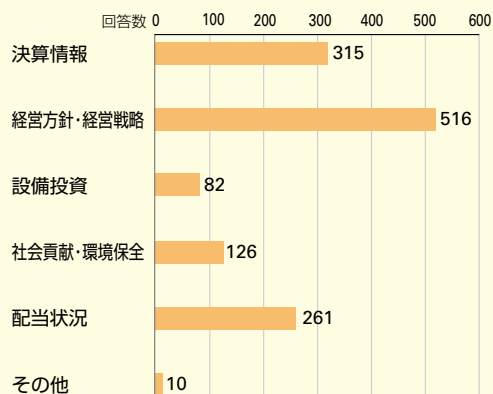


アンケート集計結果のなかで、株主の皆様が特に興味をお持ちになられたのは、「財務ハイライト」や「トップインタビュー」、「経営方針・経営戦略」などの当社の経営や業績に関わるものが多く、また、「事業内容についてもっと知りたい」とのご意見もございました。

上記の内容を踏まえ、従来のトップインタビューだけでなく、事業内容に関する特集企画などを追加して掲載することにより、内容の更なる充実を図りました。

これからも、株主の皆様のご要望に応えられるよう、情報発信の充実に取り組んでまいります。

どのような情報を得たいと思いますか？



●集計データ：
株主数14,227名、返送数910通

NECネットエスアイ

オリジナルプレゼントのお知らせ

平成20年3月31日現在100株以上ご所有の株主の皆様を対象に、感謝の気持ちをこめまして、当社「オリジナルカレンダー」または「オリジナルグッズ」をお送りさせていただきます(12月上旬発送予定)。

ご希望の方は、同封のハガキに記載されている必要事項を明記の上、ポストにご投函ください。

※締め切り：平成20年8月29日(当日消印有効)



↑ NECネットエスアイオリジナルカレンダー
A3判ヨコ:見開き時A2タテ



NECネットエスアイオリジナルグッズ
(携帯ストラップ&マウスパッド)

※こちらの写真はサンプルです。

セグメント別売上高構成

当期における受注高は前期比0.4%増加の2,545億12百万円、
売上高は前期比1.4%増加の2,582億12百万円となりました。

ネットワークインテグレーション・サポートサービス事業

主な事業内容：顧客の経営効率化や競争力強化のためのネットワークシステムに関する企画・コンサルティング、ソフトウェア開発、構築、運用・保守、アウトソーシングサービスおよび当社開発製品・機器等の提供

主要サービス

- トータルセキュリティシステム
- IPテレフォニー
- データセンターサービス
- NGN関連システム 等

1,634億円 (1.2%増)



通信工事業

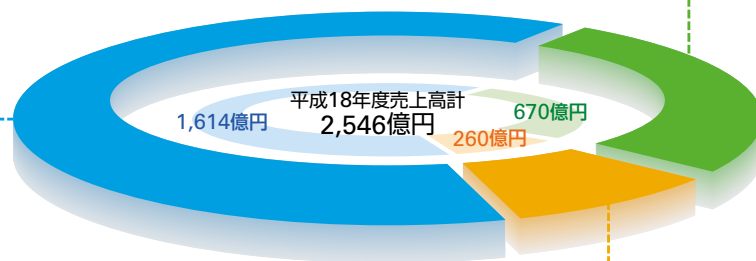
主な事業内容：
ネットワークインフラ工事および
電気・空調設備工事



代表的な工事

- プラント通信設備
- CATV設備
- 電気・空調設備
- モバイル基地局建設 等

703億円 (4.8%増)



平成19年度当期
売上高計

2,582億円

機器等販売事業

主な事業内容：システムインテグレーションを
伴わない機器単体 (情報通信機器等) の販売

244億円 (6.2%減)

■各セグメントの営業概況

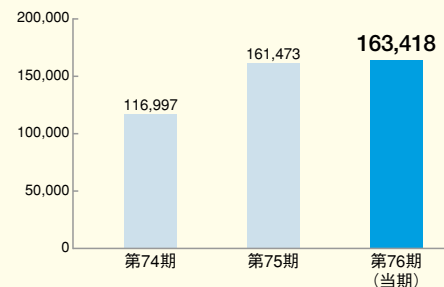
ネットワークインテグレーション・サポートサービス事業

当期の受注高は、前期比0.1%増加の1,647億65百万円、売上高は前期比1.2%増加の1,634億18百万円となりました。

これは、NGN関連では、商用化に向けたシステム構築および開発支援が増加し、大都市圏を中心とした企業では、オフィス移転需要の取り込み、ICT利活用やセキュリティ関連が堅調であったほか、官公庁や企業向けサポートサービスが増加いたしました。しかしながら、地方民需のネットワーク関連投資の伸び悩みや、一部連結子会社の業績低迷などにより、前期比ではほぼ横ばいとなりました。

売上高の推移

(単位:百万円)



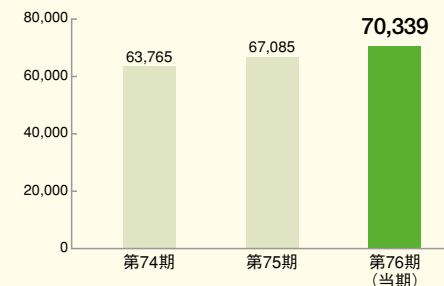
通信工事事業

当期の受注高は、前期比5.6%増加の688億46百万円、売上高は前期比4.8%増加の703億39百万円となりました。

これは、地方自治体向けの地域公共ネットワーク関連が堅調であったこと、地上デジタル放送やCATVに関する放送設備工事や電力会社向けの通信設備工事が増加したことなどにより、通信工事事業全体で増加したためであります。

売上高の推移

(単位:百万円)



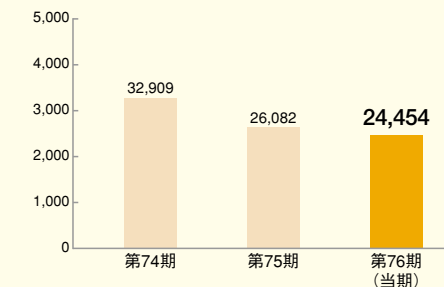
機器等販売事業

当期の受注高は、前期比12.0%減少の209億円、売上高は前期比6.2%減少の244億54百万円となりました。

これは、当社の強みであるシステムインテグレーション力が発揮できるネットワークインテグレーション・サポートサービス事業にリソースを集中したため、システムインテグレーションを伴わない機器単体での取引が減少したものであります。

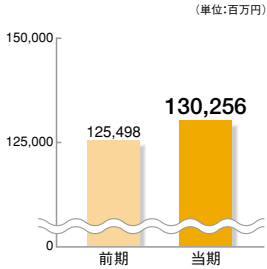
売上高の推移

(単位:百万円)



流動資産

現金及び預金の増加などにより、前期比47億円の増加となりました。



貸借対照表

(単位:百万円)

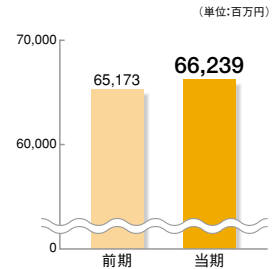
科 目	期 別	当 期 (平成20年3月31日現在)	前 期 (平成19年3月31日現在)
資産の部			
流動資産		130,256	125,498
現金及び預金		14,341	8,602
受取手形及び売掛金		96,552	95,353
たな卸資産		11,806	15,090
その他		8,016	6,652
貸倒引当金		△ 461	△ 200
固定資産		23,915	23,298
有形固定資産		8,236	8,260
建物及び構築物		3,559	3,391
その他		4,677	4,869
無形固定資産		3,862	3,758
投資その他の資産		11,816	11,279
繰延税金資産		7,602	6,549
その他		4,376	4,855
貸倒引当金		△ 162	△ 125
資産合計		154,171	148,797

(単位: 百万円)

期 別 科 目	当 期 (平成20年3月31日現在)	前 期 (平成19年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	66,239	65,173
支払手形及び買掛金	46,625	48,333
短期借入金	652	531
前受金	2,913	3,451
その他	16,048	12,857
固定負債	21,800	21,422
長期借入金	5,000	5,000
退職給付引当金	16,660	16,300
役員退職慰労引当金	60	95
その他	79	25
負債合計	88,039	86,596

流動負債

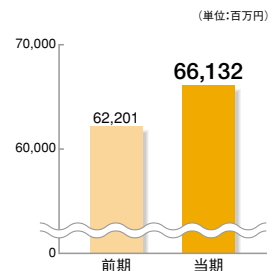
未払法人税等の増加などにより、前期比10億円の増加となりました。

**純資産の部**

株主資本	65,251	61,692
資本金	13,122	13,122
資本剰余金	16,650	16,650
利益剰余金	35,497	31,931
自己株式	△ 19	△ 11
評価・換算差額等	16	△ 308
少数株主持分	865	816
純資産合計	66,132	62,201
負債純資産合計	154,171	148,797

純資産合計

利益剰余金の増加などにより、前期比39億円の増加となりました。



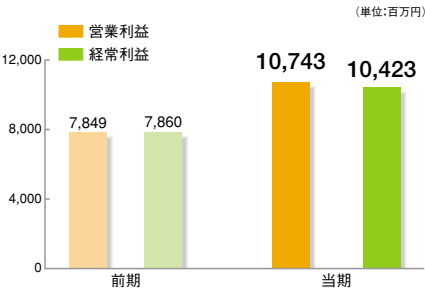
■損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当 期	前 期
		(平成19年4月 1日から 平成20年3月31日まで)	(平成18年4月 1日から 平成19年3月31日まで)
売上高		258,212	254,641
売上原価		222,644	221,379
売上総利益		35,567	33,262
販売費及び一般管理費		24,824	25,413
営業利益		10,743	7,849
営業外収益		539	683
営業外費用		858	672
経常利益		10,423	7,860
特別損失		1,596	586
税金等調整前当期純利益		8,827	7,273
法人税、住民税及び事業税		5,985	3,784
法人税等調整額		△ 1,575	△ 29
少数株主利益		5	41
当期純利益		4,412	3,476

営業利益・経常利益

売上高の増加に加え、
トータルコスト改革
活動などの成果とし
て、原価率および販
管費率が改善したこ
とにより、過去最高益
を達成いたしました。



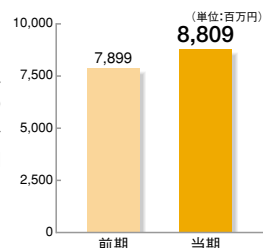
■キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科 目	期 別	当 期 (平成19年4月 1日から 平成20年3月31日まで)	前 期 (平成18年4月 1日から 平成19年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		8,809	7,899
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,454	△ 2,129
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 727	△ 7,360
現金及び現金同等物に係る換算差額		112	82
現金及び現金同等物の増減額		5,739	△ 1,507
現金及び現金同等物の期首残高		8,602	9,903
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		—	56
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額		—	150
現金及び現金同等物の期末残高		14,341	8,602

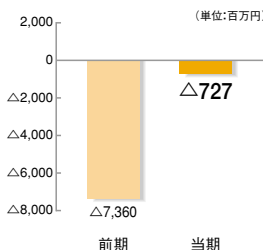
営業活動による キャッシュ・フロー

売上債権が増加、仕入債務が減少したものの、たな卸資産の減少などにより、88億円の資金の増加となり、前期比9億円の増加となりました。



財務活動による キャッシュ・フロー

配当金の支払などにより7億円の資金の減少となりましたが、前期にて短期借入金の返済による減少などがあったため、66億円の増加となりました。



■株主資本等変動計算書 当期 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位: 百万円)

項 目	株主資本					評価・換 算差額等	少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計			
平成19年3月31日残高	13,122	16,650	31,931	△ 11	61,692	△ 308	816	62,201
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 845		△ 845			△ 845
当期純利益			4,412		4,412			4,412
自己株式の取得				△ 8	△ 8			△ 8
自己株式の処分		0		0	0			0
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額 (純額)					—	324	48	372
連結会計年度中の変動額合計	—	0	3,566	△ 8	3,558	324	48	3,931
平成20年3月31日残高	13,122	16,650	35,497	△ 19	65,251	16	865	66,132

■発行可能株式総数 100,000,000株

■発行済株式の総数 49,773,807株

■単元株式数 100株

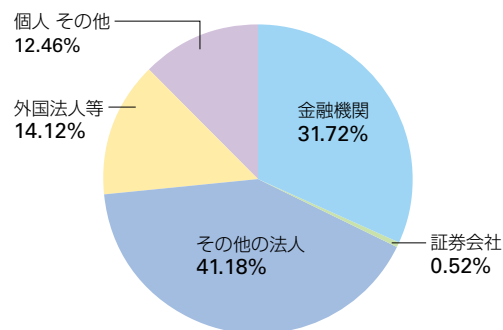
■株主数 12,024名

■大株主

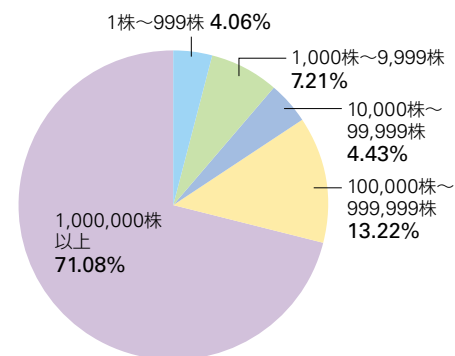
株主名	所有株数 (千株)	議決権比率 (%)
日本電気株式会社	19,106	38.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・日本電気株式会社退職給付信託口)	6,400	12.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,142	12.40
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	1,314	2.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,219	2.46
住友不動産株式会社	1,200	2.42
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	874	1.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	727	1.47
NEC ネットワークスエスアイ従業員持株会	726	1.47
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インク	592	1.20

※日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(住友信託銀行再信託分・日本電気株式会社退職給付信託口)の持株数は日本電気株式会社が退職給付信託として当社株式を提出したものであり、実質的には日本電気株式会社の議決権に含まれます。よって、平成20年3月31日現在の日本電気株式会社の実質的な議決権比率は51.48%であります。

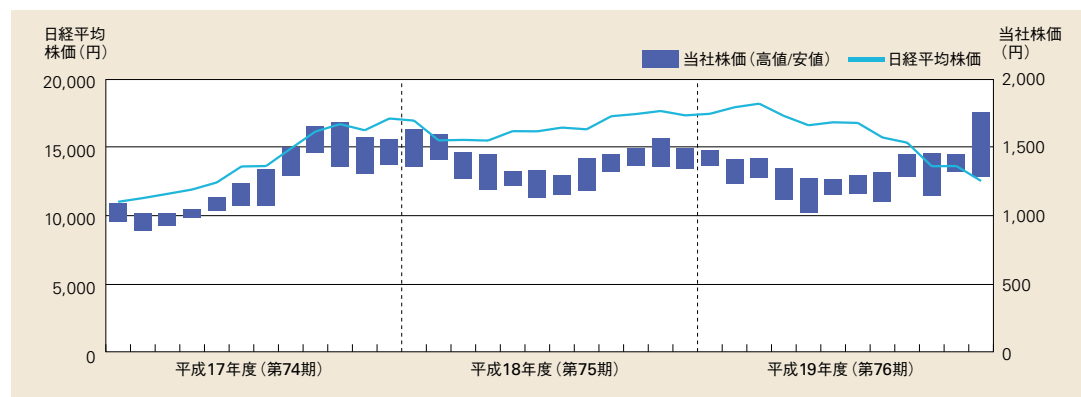
■所有者別状況



■所有株数別状況



■株価の推移



■ 会社概要

商 号 NECネットエスアイ株式会社
 英 文 商 号 NEC Networks & System Integration Corporation
 証 券 コー ド 1973(東証1部上場)
 設 立 昭和28年11月26日
 資 本 金 13,122,268,265円

一級建築士事務所登録 登録番号：東京都知事登録第17563号

I S O 認 証 ISO9001：2000(品質)
 登録証番号：JQA-0471
 ISO14001：2004(環境)
 登録証番号：JQA-EM0640
 ISO/IEC27001：2005(情報セキュリティ)
 登録証番号：JQA-IMO190
 :JQA-IMO351
 :JQA-IMO514
 :IC03J0025

プライバシーマーク 認定機関：(財)日本情報処理開発協会
 認定番号：第21000053(02)号

■ 取締役および監査役

代表取締役執行役員社長	山 本 正 彦
取締役執行役員常務	六 車 徹
取締役執行役員常務	今 野 幸四郎
取締役執行役員常務	飯 島 裕 雄
取締役執行役員常務	藤 田 厚
取締役執行役員常務	金 箱 明 憲
取 締 役	都 筑 一 雄
取 締 役	松 井 隆 幸
監 査 役 (常 勤)	小 村 正 幸
監 査 役 (常 勤)	岡 田 哲 育
監 査 役	梅 澤 治 為
監 査 役	中 西 清 司
監 査 役	新 野 哲 二 郎

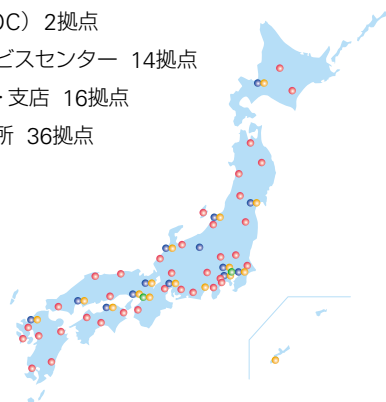
(注) 1. 取締役 都筑一雄氏および松井隆幸氏は、社外取締役であります。

2. 監査役 小村正幸氏、梅澤治為氏、中西清司氏および新野哲二郎氏は、社外監査役であります。

■ 国内ネットワークおよび連結子会社

■ 国内ネットワーク

- ネットワーク統合オペレーションセンター (nTOC) 2拠点
- サービスセンター 14拠点
- 支社・支店 16拠点
- 営業所 36拠点



■ 連結子会社

ネットエスアイ東洋株式会社
 トーヨーアルファネット株式会社
 NECネットエスアイ・エンジニアリング株式会社
 NECネットエスアイ・サービス株式会社
 株式会社ネシックアセレント
 株式会社ニチワ
 NESIC BRASIL S/A
 NESIC (Thailand) Ltd.
 NESIC PHILIPPINES, INC.
 P.T.NESIC BUKAKA
 耐希克(广州)有限公司
 Networks & System Integration Saudi Arabia Co.Ltd.
 TNSi Europe GmbH

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ
 公告して定めた日

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵送物送付先) 〒183-8701
 東京都府中市日鋼町1番10
 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 住所変更等用紙のご請求
 0120-175-417
 その他のご照会
 0120-176-417

(インターネット)
 ホームページ) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同取次所 住友信託銀行株式会社
 本店および全国各支店

公告の方法 電子公告により、当社ホームページ
 (<http://www.nesic.co.jp>)に掲載
 いたします。ただし、電子公告に
 よることができない事故その他の
 やむを得ない事由が生じた場合は、
 日本経済新聞に掲載して行います。

単元未満株式のお取扱い

単元未満株式(100株未満の株式)の買取、買増請求
 手続きにつきましては、同事務取扱場所までお問い
 合わせください。

なお、証券保管振替制度をご利用されている場合
 には、同取次所では直接お受けできませんので、
 お取引の証券会社までお問い合わせください。

IRサイトのご紹介

当社の会社情報や財務情報、株式
 情報などをご覧いただけます。

主な内容

株主・投資家の皆様へ I Rカレンダー
 業績に関する発表 株式・株主情報
 I R資料室 電子公告
 主要財務データ推移 現在の株価情報

インターネット
 ホームページ

<http://www.nesic.co.jp>



NECネットスエスアイ株式会社

NEC Networks & System Integration Corporation

〒140-8620 東京都品川区東品川一丁目39番9号
 TEL (03) 5463-1111 <http://www.nesic.co.jp>

